

ソフトウェアファーストのアクセスコントロールで患者、スタッフ、施設や建物を保護

Verkadaアクセスコントロールは、病院、診療所、医療施設全体にわたるアクセスベースのイベントをリアルタイムで可視化します。Verkadaアクセスコントロールを使用すると、医療管理者は次のことが可能になります。

- OktaやAzure Active Directoryなどシングルサインオンのサービスプロバイダと統合して、従業員の認証情報管理を自動化します。
- Verkada Commandから従業員バッジを簡単にデザイン、印刷、発行できます。
- 分散した施設をリモートで管理します。
- 何百ものドアのロック解除スケジュールと休日管理を簡単に管理します。
- 既存のドアハードウェアを活用して、新しい施設をすぐに保護したり、既存の建物をアップグレードしたりできます。
- マネージドバックアップ、災害復旧、監査を備えたCommandのクラウドインフラストラクチャを通じてITにかかる諸費用を削減します。

Verkadaの医療機関向け監視システム



10年間の製品保証



無制限のユーザー数



ファームウェアとソフトウェアの自動更新



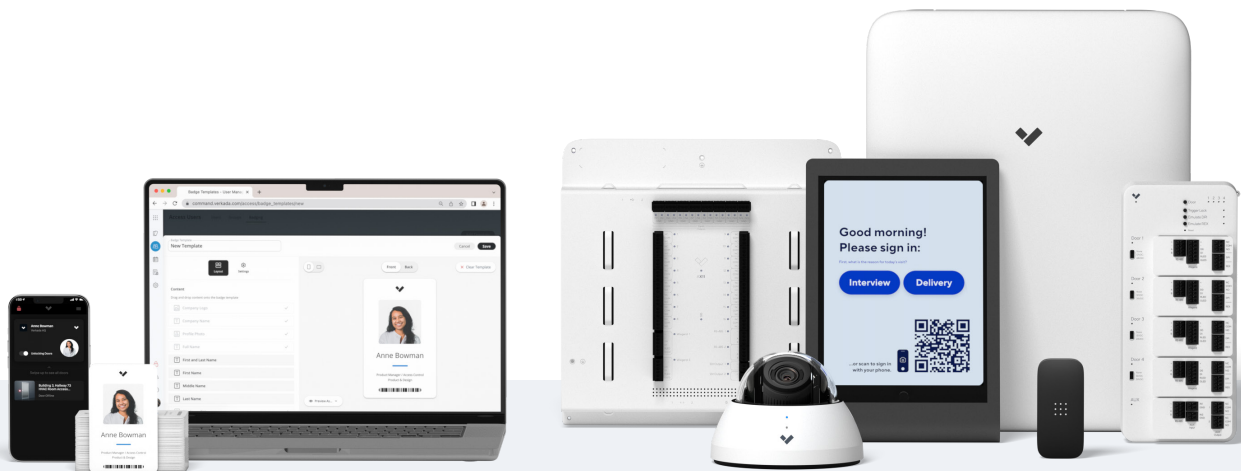
テクニカルサポート



より低額な10年間の総所有コスト



予測可能な更新費用



主要なメリット

ネイティブカメラ統合

数回クリックするだけでドアにカメラを追加し、アクセスイベントとビデオ映像をまとめます。

まぜボーディングからオフボーディング

アクセスコントロール機能で、ユーザーのオンボーディングからオフボーディングまで一つの画面で実施できます。

一元化された管理

一元管理で複数の構内を管理できる、直感的なクラウドベースのソフトウェアプラットフォームをエンドユーザーに提供します。

わかりやすい料金体系

自動更新とすべてのハードウェアに対する業界トップの10年保証により、総所有コストが削減されます。

使いやすい

誰でも直感的に使えるソフトウェアプラットフォームで、ITチームへの依存を軽減します。

規模拡張しやすい

ドア、認証情報、サイトを必要なだけ追加できます。認証情報は、複数の病院サイトにわたってプロビジョニング、利用、モニターできます。

使用事例

設定可能な緊急ロックダウン

1. パニックボタン、Verkada Command、またはVerkada Passアプリからロックダウンを起動します。
2. 特定の部門、部屋、外部ドアをロックダウンします。ロックダウン中でも初期対応者のアクセスを許可できます。

階層化されたアクセスレベルときめ細かい権限

段階的なアクセスレベルと役割ベースでの権限をスタッフにプロビジョニングして、個人の医療情報と制限区域を保護します。

リモートおよびハンズフリーのBluetoothロック解除

Verkada Passアプリを介してモバイルデバイスから、またはCommandを介してあらゆるWebベースのブラウザから、ドアをロック解除します。BLEを有効にすると、あらゆるスマートフォンをキーカードとして利用できるようになり、物理的なキーの必要性が軽減します。

HIPAAコンプライアンスと監査のサポート

簡単な監査とコンプライアンスを維持しながら、HIPAAをサポートするために最小限の特権ポリシーを適用します。

設置場所

- 病院の出入り口
- 医療用品保管室
- IDF (中間配線盤) とサーバールーム
- 診療所のドアと遠隔施設
- エレベーター
- インターホンと通用門

お客様の声



Helix

「アクセスコントロールとビデオセキュリティとの連携は、シームレスです。ドアイベントはセキュリティ映像と自動的に同期されるため、数日ではなく数分で調査が終了します。モバイルアプリからリモートでアクセスしたり、ビデオを共有したり、ドアのロックを解除したりできる機能で、時間を大幅に節約できます。」

施設担当アソシエイトディレクター
Stinson Lamb氏



Avita Pharmacy

「医療機関として、HIPAAの規則に従い、職務ごとのアクセスを最小限にすることが重要です。個人の役割に基づいて、きめ細かい権限を個人に提供する必要があります。」

コーポレートシステム担当副社長
Marshall Frost氏



El Centro Regional Medical Center

「駐車場、病院の入り口、救急治療室、その他の重要なエリアにVerkadaを設置することができました。システムを立ち上げて実行するまでのすべての手順は非常に簡単でした。」

情報サービスマネージャー
Darryl Mark氏